



カンボジアの青い空



富山県カンボジア王国親善協会

事務局・富山市小中163番地

阪神化成工業株式会社内

T076-429-1865 F429-6042

発行責任者 中山 隆

事務局担当 石黒 美和

ご挨拶

富山県カンボジア王国親善協会 会長 高田 順一

新緑が美しい季節になりました。皆様にはますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。また日頃は当協会の運営に格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

平成から令和へと元号が変わり、新時代の幕開けに心が弾む思いがいたします。当協会といたしましても富山県とカンボジア王国との親善交流に貢献する思いは変わることはありませんが、新時代に合った協会運営などを模索して参りたいと思っております。会員の皆様からのご提案をいただければ幸いです。何卒よろしくお願いたします。

昨年ウン・ラチャナ新大使が着任されました。12月14日東京赤坂にあるカンボジア王国大使館に表敬訪問いたしました。中山隆事務局長、戸田治さん、近藤秀樹さんも一緒していただきました。冒頭、ウン大使から皇居で信任状奉呈式を行い、たった今戻ったところですよとお話がありました。各国の大使は着任時と離任時に天皇陛下にご挨拶されると聞いていたのですが、大使が直前まで天皇、皇后両陛下と歓談していらしたと伺い、何故かとても幸せな気持ちになりました。

私たちからはウン大使に協会設立の経緯と活動について説明をいたしました。大使は継続して行っている青少年ホームステイ受け入れ事業をととても評価していただきました。大使もかつて日本で留学されていた経験があり、学生時代に外国で過ごすことの大切さをお話しされました。また総会に併せてぜひ富山にお越しいただきたいと招請しましたところ、本国からよほどの要人が来日されない限り必ず行きますと約束していただきました。富山県の自然の素晴らしさをPRし、大使も雪の大谷など立山黒部アルペンルートにととても関心を示していただきました。

今回、大使に同行されるのはティエン・ペンリッティ労働参事官とドゥック・ヴァナリット一等書記官、ボン・ソピアク秘書官の三名です。「労働参事官」は昨年1月に新設されたポストです。近年日本で就労しているカンボジア人技能実習取得者数は2018年9月時点で約6,000人とベトナム、中国に比べて少ないものの、礼儀正しく真面目な国民性が受け入れられ増加しています。そんな人たちをサポートするためカンボジア政府は駐日大使館に労働参事官を駐在させることを決定しました。その初代労働参事官がティエン・ペンリッティさんです。大使ご一行は総会の翌日、カンボジアからの技能実習生が働くタイワ精機、阪神化成工業、不二ビルを三社を訪問されます。

毎年11月に富山駅構内やCICで国際交流フェスティバルが開催され、当協会もブースを設けてカンボジアと協会のPRをしていました。今年は11月10日(日)に開催されます。富山県内には当協会の会員企業以外にもカンボジア技能実習生が活躍されています。今年度はそのような人たちにも参加してもらえないかと考えています。カンボジア大使館の協力を得てセミナーや交流会などを企画したいと思っています。この件につきましても皆様のご提案を歓迎いたします。例年同様、青少年ホームステイ受け入れ事業、カンボジア訪問事業も行いますので皆様のご参加をお願いいたします。

皆様の益々のご健勝ご多幸を祈念申し上げご挨拶といたします。

ホームステイ受け入れ事業



スルン・リダヴィッド

日本に行くのは誰にも大事な夢です。私にとって、それも一番大切な目的です。私はダヴィッドと申します。現在、王立プノンペン大学で日本文学と英文学を学習しています。私は日本語を勉強始めたきっかけはアニメでした。アニメを見る間、日本の色々なことに興味を持ちましたが、一番面白かったのは文化です。私は日本の文化が素晴らしいと思います。ですから、もっと日本の事を学びたいです。

私は富山県への短期ホームステイプログラムのパンフレットを見て、興味を持ちました。私は富山県に行けたら、色々なことを学びたいと思っています。まず、日本で日本の学生の生活を実際に経験したいです。カンボジアの生活に比べたら、どう違うか、どちらがもっと難しいか、知りたいです。そして、もっと日本のことが分かるため、日本学生に会って、お互いに勉強の経験や方法など交換したいと思っています。お喋りする時は全部日本語を使うので、自分の日本語能力も上達することができます。

また、富山県の環境を守る制度を知りたいです。富山県の環境はとてもきれいで、「環境のモデル市」と呼ばれています。どうやって町の環境をきれいにするのだろうか、その質問は私の頭の中に残っています。もし日本に行けば、その質問の答えを分かるだろうと思います。それから、カンボジアに帰る時、みんなに説明して、できるだけ、カンボジアの環境を守るつもりです。

最後に、私は富山県の祭りを知りたいです。富山県には色々な祭りがありますが、一番面白いのは、「おわら風の盆」という祭りです。その祭りは盆踊りに似ています。去年、カンボジアでの盆踊りでボランティアをしました。とても楽しかったので、ぜひ「おわら風の盆」にも参加してみたいです。

私には日本に行くのはまだ夢ですけど、もし富山県ホームステイプログラムに合格して富山県に行くことができれば、一生懸命最後まで頑張ります。



アオック・ソダヴァン

富山県というプログラムのお知らせを聞いた時、ぜひ参加したいと思った。なぜなら、過去に先輩が参加したことがあり、いろいろな話を聞いていたからである。

富山県の情報を自分でももっと調べると、様々なことが分かってきた。それで、もっとも興味があるところを三つ話したいと思う。

一つ目は、富山県の文化である。その中で、特に「おわら風の盆」に興味がある。この祭りの歴史又はどうしてこの祭りを行われるかを知りたいと思う。インターネットで調べるだけでは不十分なので、直接行って体験したいと思う。また私は踊ることが大好きなので、この祭りは見るだけではなく、自分で踊りたいと思っている。

二つ目は富山県での教育制度である。この情報を調べると、富山のトップの大学に興味がある。特に私にとって一番見に行きたい大学は高岡法科大学だ。私も法学部の学生なので、もしその大学に行けば、その法学の講義を体験したり、カンボジアとどんなところが違うかを知りたい。また、教育制度はどうやったらカンボジアの教育システムがもっと発展するのかを学びたい。

三つ目は富山県の町だ。インターネットで調べると、富山県は日本で一番安全な県だそうだから、その良いことを知りたい。例えば安全の理由を調べて、どうやって自分の国に活かせるのかを学びたいと思う。そのようなことは私の国が発展する機会だと思う。

このプログラムに選ばれたら、富山県でいろいろなことを勉強して帰って、そこでの経験や勉強したことをカンボジア人に伝えたい。また日本との外交関係がさらによくなるように、将来は、カンボジアに富山県の人を招待するプログラムを作ってお互いに交流したいと私は思っている。



チェンダー・マリニー

私はチェンダー・マリニーと申します。富山のホームステイプログラムのオリエンテーションに参加した後で、感動しました。面白いことがたくさんあるので、このプログラムで体験したいです。富山県に行きたい理由が三つあります。

まず、日本の日常生活を自分で見て経験したいです。日本とカンボジアは違うので、新しい環境でいろいろなことを勉強できると思います。それに、日本の季節が四つあって美しいそうです。テレビやウェブサイトで景色を見えるのは良いですが自分の目で見ることは素晴らしいと感じられるでしょう。

二つ目、言語と文化がわかるために、クラスで勉強するだけでは満足しません。一緒に日本人と練習できるなら、自分の日本語能力も上がるようになると思います。また、ホストファミリーと一緒に住むことは本当に素晴らしいなあと思います。

三つ目、初めてアニメを見たとき、日本の文化に本当にきょうみがありました。CJCCでいろいろな文化のイベントに参加したりして、日本についてもっと知っていました。それに、日本には季節のイベントがたくさんあるそうです。参加できたら、そのイベントを楽しめて、日本の文化の体験がたくさんできるようになると思います。

日本についてもっと知りたいと思います。だから、日本に行きたいです。帰って、日本が好きな人に経験や知っていることを教えます。カンボジアと日本の文化は違いが多くて、表現と詞使いもずいぶん違っているので、文化を知ったら、勉強ももっとやさしくなると思っています。

《ホームステイ生の選考について》

選考はCJCCに一任しております。
今年度はカンボジアで日本語を勉強している学生3名を受け入れました。
今年度のホームステイプログラムには22名の応募がありました。書類選考と面接により3名が選ばれました。

《ホームステイ学生の紹介》

スルン・リダヴィッドさん 男性 20歳

王立プノンペン大学 2年生
特技：インターネットで色々な情報を調べること
趣味：アニメ、マンガ、運動

アオック・ソダヴァンさん 女性 20歳

王立法律経済大学法学部 在籍
特技：ダンス
趣味：本を読むこと

チェンダー・マリニーさん 女性 22歳

CJCCで実習中
趣味：アニメを見ること、音楽を聴くこと

《CJCCについて》

カンボジア日本人材開発センター(CJCC)は、日本の知識や経験を活かしてカンボジアの市場経済化を促進し、市場経済化を担う実務人材あるいは地場の中小企業を主たるターゲットとした産業育成を担う人材を育成すること及びカンボジアと日本の相互理解を深めていくことを目的として2004年に設立されました。センターの建物は日本政府の無償資金協力によって、王立プノンペン大学(RUPP)の構内に図書室・多目的ホール・和室・展示スペース等を備えた建物が2005年11月に完成し、「カンボジアにおける人材育成と情報発信・相互理解の拠点」として、今後ますます活発に事業が展開されていきます。

平成30年度 富山県カンボジア王国親善協会ホームステイ日程表

平成30年8月24日（金）から9月2日（日）

日	曜日	午前	午後	ホームステイ宿泊先	
8/24	金	10:50 小松空港出迎え	15:00 阪神化成工業 受入れ家庭説明会	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高田様宅 中山様宅
8/25	土	自由時間	18:00 歓迎会 ホテルグランテラス 3階 白鳳	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高田様宅 中山様宅
8/26	日	9:00 立山観光	15:30 阪神化成工業 東側駐車場 到着・解散	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高田様宅 中山様宅
8/27	月	10:45 北日本新聞社 訪問 11:30 富山市役所 森市長訪問	13:30 富山ガラス工房 15:30 富山市ガラス美術館	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高田様宅 中山様宅
8/28	火	10:00 魚津水族館	13:00 魚津市役所 14:00 宮崎海岸	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高尾様宅 成川様宅
8/29	水	10:30 富山県中央植物園	13:30 華道・茶道体験 18:00 八尾おわら前夜祭	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高尾様宅 成川様宅
8/30	木	11:00 富山大学 人間発達学部 根岸教授ゼミ訪問	14:30 榊タイワ精機 訪問 餅つき	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高尾様宅 成川様宅
8/31	金	10:00 海王丸 12:00 フェルヴェール	14:00 瑞龍寺	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高尾様宅 成川様宅
9/1	土	10:30 富山市内観光 セントラム乗車	13:00 ファボーレ 買い物 18:00 送別会 富山第一ホテル 白楽天	スルン・リダヴィッド アオック・ソダヴァン チェンダー・マリニー	門前様宅 高尾様宅 成川様宅
9/2	日	10:45 小松空港見送り			

ホームステイ受け入れ事業 写真集

3名の学生は、10日間、富山県内のたくさんの場所へ行き、色々な体験をしました。その様子を写真でご紹介します。

ご多用中にも関わらず、受け入れをしてくださりましたホストファミリーの皆様、ご同行いただきました会員の方々、また、行事にご参加くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

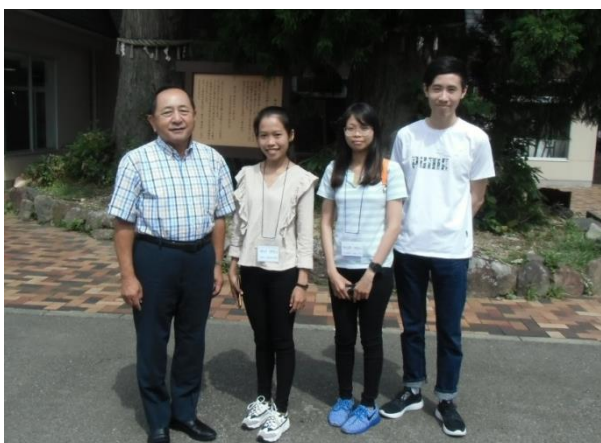
今後とも、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。



小松空港に到着



ホテルグランテラスにて歓迎会



立山観光 素晴らしい景色を見ることができました



北日本新聞社 表敬訪問



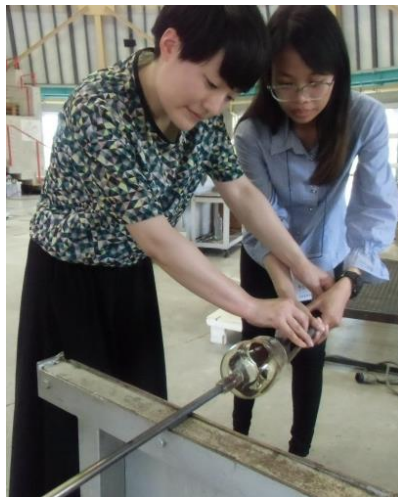
富山市役所 森市長表敬訪問



富山市役所展望台にて



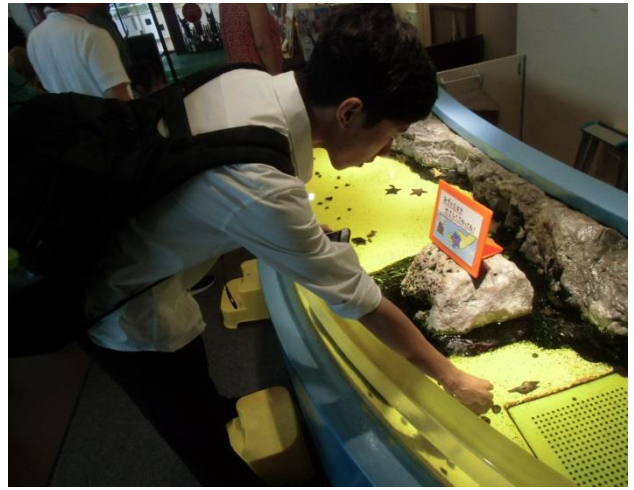
富山ガラス工房へ行きました



作品を制作し、とてもいい記念のお土産になりました



富山ガラス美術館を見学しました



魚津水族館へ行きました



ミラージュランドで観覧車



魚津市役所訪問



宮崎海岸へ



丁寧に教えていただきながらひすいを探しました



長江様宅にて茶道と華道を体験しました



八尾おわら前夜祭



(株)タイワ精機訪問 餅つきを体験しました



海王丸パークにて



伊勢副会長のレストランで昼食をいただきました



国宝 高岡山瑞龍寺



最後の富山市内観光



富山第一ホテル 白楽天にて送別会



ホームステイ生たちが踊りを披露してくれました

事業報告(経過報告)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

- H30. 4. 10 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。
第11回定時総会について協議。
5. 16 富山第一ホテルに於いて、第11回定時総会及び懇親会を開催。
7. 26 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。
ホームステイ受け入れ事業について協議。
8. 24 7回目の「ホームステイ受け入れ事業」にカンボジア日本人材開発
センターから派遣された、男性1名女性2名、計3名の学生が
9. 2 9泊10日の日程で会員の各家庭に宿泊し、交流を深める。
11. 9 ウン・ラチャナ大使より要請があり、在日本カンボジア王国大使館へ
カンボジア独立記念日の広告協賛をする。
11. 11 富山駅自由通路、CICビルで行われた国際交流フェスティバルに参加し、
カンボジア王国及び協会のPRをする。
11. 19 ホームステイ事業について理事宛に郵送にて報告する。
12. 14 在日本カンボジア王国大使館を訪問。ウン・ラチャナ大使と面談。
次期総会に来訪を招請する。



H30. 5. 16 第11回総会・懇親会

国際交流フェスティバルに参加

平成30年11月11日(日)

富山駅自由通路やCICビルで開催される「国際交流フェスティバル in TOYAMA」に毎年参加しています。ホームステイ事業やカンボジア王国訪問の写真を展示し、ブースを訪れてくださった方に協会の説明をしました。今回も大勢の方に協会をPRすることができました。



会員募集中！！

協会の会員を募集しております。
お知り合いの方を是非ご紹介下さい。
事務局までお気軽にお問合せ下さい。
〈事務局〉
TEL 076-429-1865
(阪神化成工業(株)内 担当：石黒)

編集後記

今回も皆様のご協力のもと、会報第11号を発行することができました。
今後は富山県内で活躍しているカンボジアの皆さんの情報を伝えていけたらと考えております。
今後とも、よろしくお願い致します。

